

“三郷のいいところ”カルタの遊び方

1. カルタをはじめる前に

このカルタは、市内小中学生のみなさんの
ご協力によって作られたものです。

勝ち負けにこだわらず、郷土の美しい文化や
自然を心に描きながら、ルールを守って礼儀正しく、
仲よく遊びましょう。

2. 競技のやり方

このカルタの競技は、次のように行います。

- ① 団体戦(3人1組となり、2組で競います。)
- ② 個人戦(1人对1人で競います。)

(1) カルタに用いる札

「三郷のいいところ」カルタ」読み札、絵札ともに
46枚です。

(2) カルタに必要な係

子ども会などのイベントで試合形式で行う場合は、
次の係を用意しましょう。

- ① 進行係 1, 2名
人数が少ない場合は「読み手」が務める
- ② 読み手 1, 2名
読み札を読む
- ③ 審判員 各試合に1, 2名
試合を公平に審判する

(3) カルタの準備

- ① 1人对1人(団体の場合は3人对3人)で向かい合います。
- ② 進行係の合図で(団体の場合は中央の人が)じゃんけんをし、勝った人が札をよく切り、
23枚ずつに分けて前に置きます。負けた人が先にどちらかをとり、勝った人が後から取ります。
- ③ 取った札はそのまま並び替えず、自陣の前に、3段(団体の場合は2段)にそれぞれ平均に並べます。
- ④ カルタを並べはじめてから3～5分間に絵札を覚えさせます。

(4) カルタの進め方

- ① 読み手が「から札(み)」を2回読みます。これが予告になり、3回目に読まれる札から取りはじめます。(各札2回ずつ読みます)

- ② 絵札が最後の2枚になったら、真ん中に30センチほど離して並べ、(団体の場合は中央の1名が)この札を争い、取った人がもう1枚も取ります。

(5) 採点

得点の計算は、1枚1点とします。ただし、団体の場合は、次のような「やく札」があります。「やく札」はそろわなければ、1点として計算します。

また、個人・団体ともに、同点の場合は「み札」を持っている方が勝ちとします。

シンボル札 ㊶ ㊷ ㊸ の3枚で5点
イベント札 ㊹ ㊺ ㊻ の3枚で5点

3. カルタ上の注意

- ① 札を取るときは、わざと飛ばしてはいけません。また、両手を使ったり、力ずくで札を引っ張り合ったりしてはいけません。札が読まれるまでは手はひざの上に置き、線からひざやひじ、顔などが出てはいけません。
- ② 読まれた札でない札に手を触れたら「お手つき」として取った札の中から1枚相手に渡します。
- ③ 両方の手が重なったら、下の手の者が取ります。同時の時には、自陣の者にゆずります。ただし、その札が「やく札」の時は、「審判あずかり」とします。
- ④ 札を取る時は大きな声で「はい」と言って取りましょう。
- ⑤ カルタのはじめと終わりには、お互いに札をしましょう。
- ⑥ 相手に不満があっても直接言い合いはせず、審判を通して意見を述べましょう。
- ⑦ カルタのやり方や並べ方などを工夫して試合をしてみましょう。

令和3年4月作成

制作・著作・発行 三郷市子ども育成連絡協議会

〒341-0042 三郷市谷口570 青少年ホーム内

電話 048-953-1040(事務局)

詳しいルールは、HP もしくは事務局へお問い合わせください